

さくら地区だより

令和6年3月〈No.36〉
桜地域まちづくり協議会
宇都宮市桜3丁目2-22
桜地域コミュニティセンター
Tel/Fax. 636-2007



桜地区防災計画特集号

元日に石川県能登地方を襲った大地震は、同地方に甚大な被害をもたらしました。

宇都宮市で震度6強を記録した平成23年の東日本大震災以降だけでも、平成28年の熊本地震、平成30年の北海道胆振東部地震、そして今回の能登半島地震と、震度7の地震が3回も起こっています。改めて“地震大国日本”には、安全な場所などないことを実感させられます。

私たちの桜地域は、比較的災害にあいにくい地域ですが、残念ながら災害と無縁ではありません。地震による家屋の倒壊や火災、また、停電や断水といったライフラインの途絶がいつあっても不思議ではありません。

もし大きな災害が起きた場合、市役所や警察、消防は、すぐに十分な対応ができません。そんな時に頼りになるのが“地域ぐるみの協力体制”です。この度、地域の災害対応の指針となる「桜地区防災計画」を策定しました。この冊子はその概要版となります。

私たちの住む“桜地域”ってどんなところ？

1. 地域の特性

(1) 自然・社会特性

- ・桜地域は、面積1.58Km²（東西約1.5km、南北約1.4km）で、宇都宮市中心市街地の西側に位置し、大通り（大谷街道）と桜通りが交わる交通の要衝です。地形的には大きな河川や山がなく、平坦な地形に多くの個人住宅が広がり、その中にマンションやアパートが点在しています。
- ・この地域は、地域内に大規模な私立高校が4校存在する全国でも有数の文教地区であることから、平日の昼間人口が居住人口より数千人多くなり、また各校の大きな空間があり、それらが一時避難場所となっています。

(2) 人口と世帯数（令和4年10月1日現在）

人 口	8,007人 (男3,797人 女4,210人)
世 帯 数	4,171世帯
単 位 自 治 会 数	26自治会

2. 想定される災害及び被害

(1) 宇都宮市地域防災計画における被害想定

宇都宮市地域防災計画において、市役所直下でマグニチュード6.9の地震が発生したことを想定し宇都宮市全体の被害が予測されています。

◇建物被害

市内の住宅を対象に全壊及び半壊に分けて被害棟数が想定されています。

想定地震名	全壊棟数	半壊棟数	被害棟数
市役所直下地震 (M6.9)	9,847棟 (6.8%)	28,532棟 (19.7%)	38,379棟

◇火災発生件数

市役所直下地震の際の火災発生件数は、以下のように想定されています。

地震発生	出火件数	残火出火件数	焼失棟数
冬の夕方	20件	4件	342棟

◇人的被害

市役所直下地震による死者数は610人、負傷者数は7,240人と想定されています。

住宅の被害等による要避難者数は、21,037人、一時避難者数は27,446人が見込まれ、避難者の総数は48,483人と想定されています。



死者	負傷者			避難者		
	重傷者	軽傷者	合計	要避難者	一時避難者	合計
610人	1,054人	6,186人	7,240人	21,037人	27,446人	48,483人

(2) 桜地域で想定される災害及び被害

桜地域はほぼ平坦な地形であり、大きな河川もないため、これまで大きな災害に遭ったことはありませんが、次のような災害が想定されます。

【大規模地震】

- ・家屋の倒壊、損壊や大火災
- ・屋根瓦や石塀などの損壊、電柱の倒壊
- ・電気、水道、ガス等ライフラインの途絶や交通網の寸断

【台風・集中豪雨】

- ・小河川の氾濫、溢水、道路の冠水
- ・暴風（竜巻など）による家屋、車などの損壊、電柱や樹木の倒壊

3. 共有しておきたい地域の情報

(1) 地域内の危険が予想される箇所

桜地域内にも大雨や地震の時に被害が懸念される箇所があります。



旧鹿沼街道と三の沢川の交差点付近

旧鹿沼街道と鶴田川の交差点付近

大谷街道から北の鶴田川

一時避難場所	避難所
災害が発生した場合、一時的に避難し、身の安全を守る場所	被災者が一定期間生活する場所
<ul style="list-style-type: none"> ・桜小学校 ・宇都宮大学附属小中学校 ・陽西中学校 ・宇都宮文星女子高等学校 ・作新学院 ・文星芸術大学附属高等学校 ・宇都宮短期大学附属高等学校 ・宇都宮女子高等学校 ・宇都宮地方裁判所 	<ul style="list-style-type: none"> ・西市民活動センター ・桜小学校 ・桜地域コミュニティセンター ・陽西中学校

広域避難場所
火災が延焼拡大するなど災害が大規模化し二次災害の危険から住民の安全を確保できる、より安全な場所
・栃木県中央公園

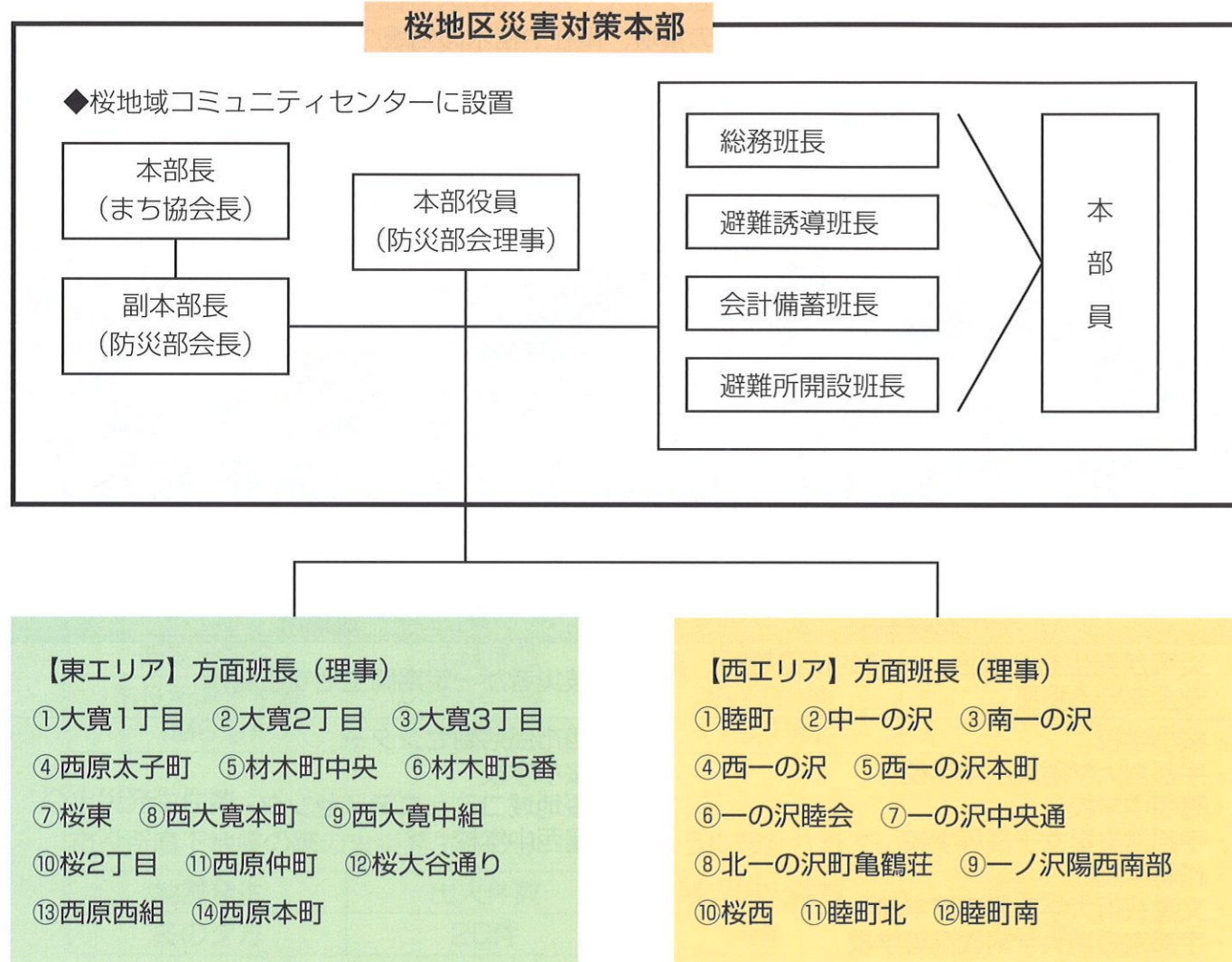
備蓄避難所	防災備蓄庫
自主防災組織を中心とする地域の活動拠点となるよう、必要な物資を備蓄した避難所	食糧、毛布、ろ水機、簡易トイレなど災害時に必要な応急用品を備蓄している倉庫
・桜小学校	・栃木県中央公園 ・陽西中学校

いざ、というときの体制

1. 地区の防災体制

宇都宮市に震度5強以上の地震が発生した時などには、桜地域コミュニティセンターに、“桜地区災害対策本部”が設置されます。この災害対策本部は、桜地域まちづくり協議会防災部会の構成員がそのまま本部員となります。

また、地区内26自治会を東西に分け、それぞれに本部との連絡調整などを行う方面班長を置くこととします。



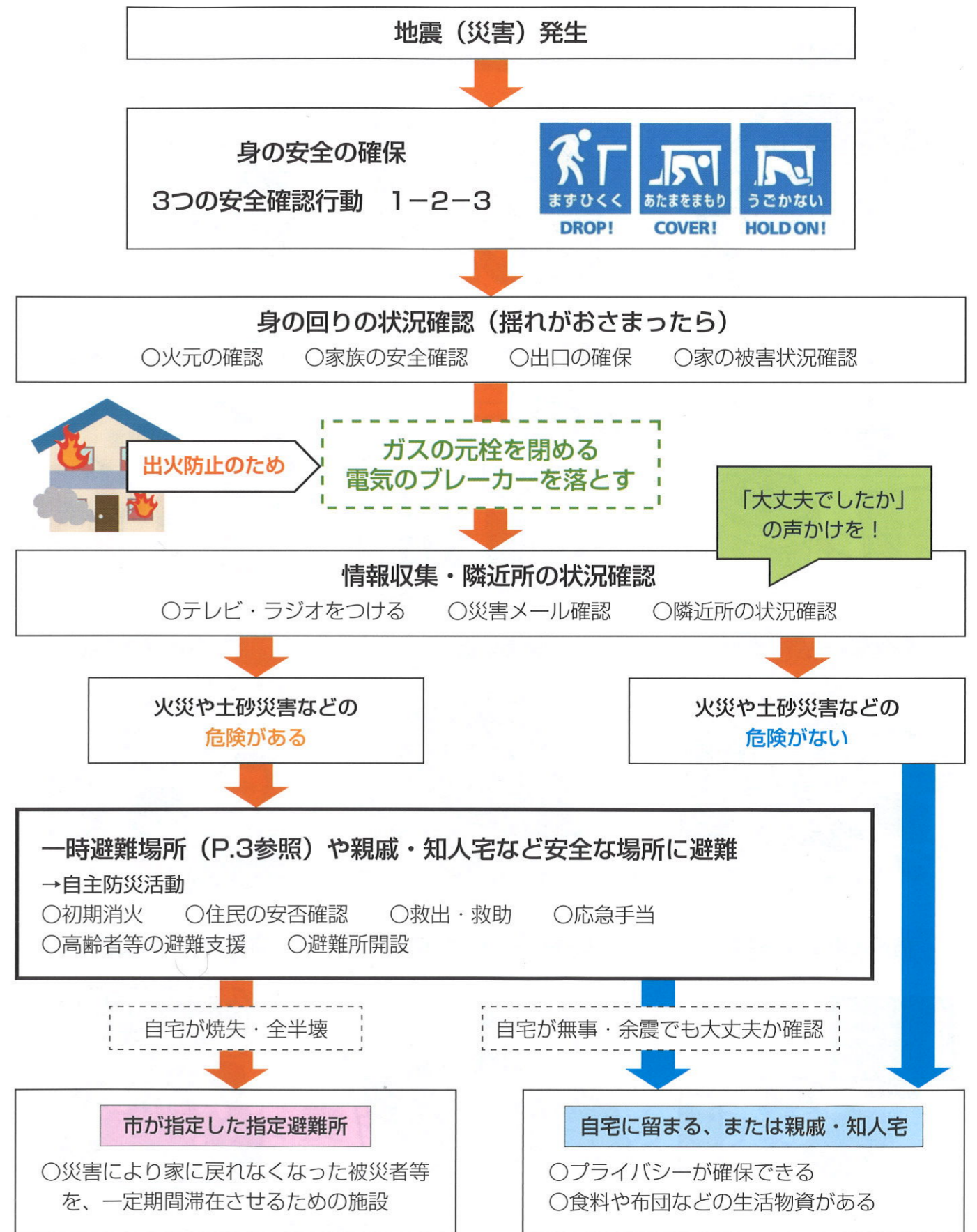
2. 地域防災拠点と桜地区災害対策本部との連携

災害時には、市の災害対策本部から情報のほか救援物資などが地域に送られてきます。それらの情報や救援物資などは、地域防災拠点である西市民活動センター（作新学院東側）を基点とし、桜地域コミュニティセンターに設置した桜地区災害対策本部を経由して避難所や在宅避難者に伝達、支給されます。

また、万が一の時のための避難所は、避難所利用者の代表者、桜地区災害対策本部、自治会などの地域の役員や、市職員、施設管理者などで構成する避難所運営委員会を設置して運営します。なお、在宅避難者の状況は、桜地区災害対策本部で把握、避難所運営委員会と情報共有し、西市民活動センターを通じ市災害対策本部に報告し、支援を受けます。

桜地域で大きな地震が起こったときにどうすればよいのでしょうか

地震が発生したときは、下図を参考に落ち着いて行動してください。



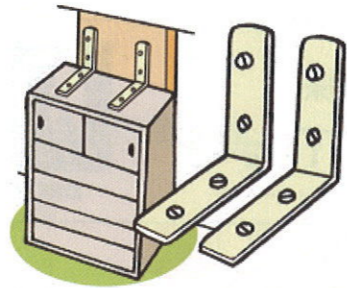
自分の命は自分で守る—出来るところから備えていきましょう

「災害は私には関係ない」といえる人はひとりもいません。誰にでも降りかかってきます。災害に備えて、出来ることから、自分で、そして家族で取り組みましょう。

自宅の耐震化※



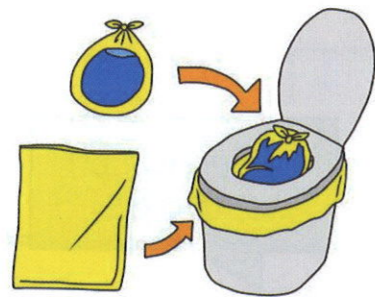
家具の転倒防止



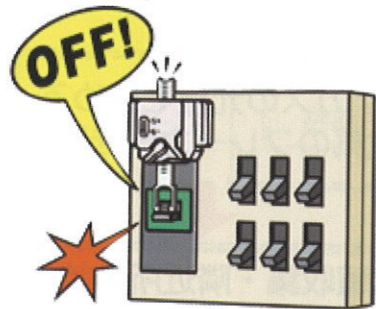
飲料水・食料・日用品の準備



災害用トイレの準備



感震ブレーカーの設置



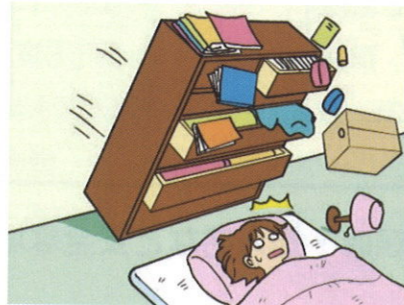
台所付近への消火器設置



非常用持出袋の準備



寝室の備え



家族間の連絡手段



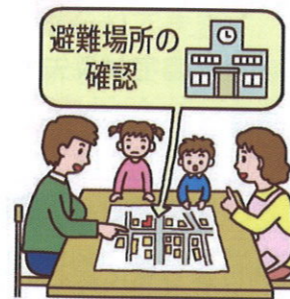
情報収集手段の確認



ハザードマップの確認



避難場所への経路確認



※昭和56年5月31日以前に建てられた戸建て住宅には、耐震化補助制度があります。

災害情報の収集方法について

1. 最寄りの避難所等の情報は

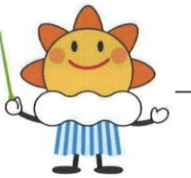
宇都宮市 ホームページ	各種緊急情報の通知、ハザードマップの確認
----------------	----------------------



2. 気象情報の収集

テレビ、ラジオのほか、インターネットで気象情報等入手することができます。

国土交通省 川の防災情報	全国の雨量、河川水位、積雪情報などをリアルタイムで公開 鬼怒川（佐貫・石井）の水位情報
とちぎ リアルタイム雨量 河川水位観測情報	栃木県の気象情報、雨量、河川水位、観測地点のライブカメラ映像など
とちぎ 土砂災害警戒情報	土砂災害危険箇所マップ、土砂災害警戒区域、 特別警戒区域マップなど掲載
気象庁	気象庁が発表する気象情報、地震・津波情報、 キキクル（災害発生危険度分布）を掲載



3. 市が発信する避難情報等は

宇都宮市登録制 防災情報メール	宇都宮市が行っている登録制のメール配信サービス。宇都宮市の気象警報や避難情報、避難所開設情報などの緊急情報を受信できます。 ※登録は無料ですが、メールの送受信は自己負担となります。	・メールアドレス http://mobile.city.utsunomiya.tochigi.jp/ ・QRコード
FMラジオ	災害時に宇都宮市が発信する緊急情報をFM局が放送	・エフエム栃木 76.4MHz ・ミヤラジ 77.3MHz
防災ラジオ	大規模な災害が発生したときや、発生する恐れがあるときに、自動で電源が入り大音量で放送する緊急告知機能付きのラジオです。	▽問合せ先 危機管理課 電話632-2052



浄土真宗 本願寺派 **安養寺**

材木町 5-15 028-633-2669

ボーイスカウト・ガールスカウト 団員募集中



考える力・やり抜く気力・思いやりの心を育てる

めぐみ幼稚園

桜 5-5-17 028-636-3852

<https://megumi-kg.jp/>



家庭内備蓄品・非常持出品の準備

災害時には、電気やガス、水道が使えなくなることや、食料品や生活用品などが手に入りにくくなる場合があります。自宅に留まる時や避難所に避難する時に必要になるものを考えて、最低3日間程度生活できるように準備しましょう。

また、普段から食料や日用品を少し多めに買って置き、使ったら補充する（ローリングストック）ことも心掛けましょう。



<p><input type="checkbox"/>貴重品</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・現金・印鑑 ・健康保険証 ・預金通帳・免許証 など 	<p><input type="checkbox"/>飲料水・食料品</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水（1人1日当たり3Lが目安） ・缶詰やレトルトのおかず ・アルファ米 ・レトルトのご飯 ・ドライフーズ ・インスタント食品・お菓子 ・乳児用ミルク など 	
<p><input type="checkbox"/>照明・情報端末など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懐中電灯 ・ランタン ・充電器 （スマートフォン 携帯用） ・電池 など 	<p><input type="checkbox"/>衣類（季節ごとに準備）</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・下着・靴下・防寒着 など 	
<p><input type="checkbox"/>応急医療品</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ばんそうこう ・傷薬 ・常備薬（鎮痛剤など） ・処方薬（持病のある方） ・マスク ・手指消毒薬 ・体温計 など 	<p><input type="checkbox"/>生活用品</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・洗面用具 ・化粧水 ・タオル ・ウエットティッシュ ・ビニール袋 ・生理用品 ・おむつ など 	<p><input type="checkbox"/>その他</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・卓上コンロ（予備ガスボンベ） ・ホイッスル ・使い捨てカイロ ・食品用ラップ など